



### 事業の特長や強みは何ですか？

家具の企画・製造・販売の一貫体制を築いたことにより、品質の確保と生産量のコントロールができることが強みである。製材の段階で、最終製品が何になるのかをスタッフが理解しているため、節の有無など、木材の状態を見極め、最適な木取りをして家具のクオリティを高めることができ、マーケティング部門と製材部門が生産計画のデータを共有しているため、生産工程でムダな材料を発生させることもない。

また、家具のトータルメーカーとして、幅広い製品バリエーションを有しており、リビング&ダイニング、ベッドルーム、子供部屋と、住まい全体をトータルコーディネートできることも強みであり、顧客の支持も得られている。

### 代表的な製品、サービス、設備などは？

当社の家具は、その95%が地元、天竜産ヒノキを使ったものであり、手が届きやすい価格で提供できるようコスト管理に努めている。創業以来、化学物質の発散が少ない塗料や接着剤を使用したオーガニックな家具づくりに徹しており、その安心感がお客様にとっての価値となっている。小さな子供のいるご家庭やアトピーや化学物質過敏症に悩む方に、健康を第一に考える当社の製品を選んでいただいている。

元々、木は柔らかく、温もりがあり、人の心をなごませてくれる。特にヒノキに含まれる精油分は、リラックス効果、抗菌・消毒作用、さらには記憶力や集中力をサポートする効果が研究で示されている。学習机はもとより、ダイニングテーブルやチェア、ベッドなど、まさに家具にうってつけの素材といえる。

購入後のサービスについては、5年間保証、削りなおし、座面交換、開梱設置など、当社の家具を長く愛着をもって使っていただくためのサポートも行っている。

### 今後の展望をお聞かせください。

日本にはヒノキという最良の材があるのに、現代では、家具にヒノキを使うという文化があまり浸透していないため、当社の家具がその文化を広げる一助になればと考えている。

これまで家具づくり一本でやってきたが、この度、新たに「天竜パネル」という名の構造用パネルを開発した。軽量かつ高強度という特性から、従来より施工手間を減らしコストを削減することができる。また、家具水準の含水率のため、反りや狂いが少ないことや、美しい木肌は構造用でありながら内装材としても使うことができ、施工者からも使い勝手が良いとの声が上がっている。すでに数社の工務店と販売契約を結んでいて、住宅や施設の建築に使われ始めており、今後、建築分野に対し、あらゆる活用の可能性を視野に入れ、普及に取り組みしていきたい。

住宅の家具コーディネートのために、当店舗に施主を連れて訪れる工務店が増えており、新たな商品である「天竜パネル」が、新たな顧客と出会うきっかけとなっている。一般的に、家具販売業は70%が新規の顧客であり、常に新規顧客獲得に邁進しているため、高い営業力をもっていていると思う。この特徴を活かし、「家具+建材」というクロスセルにより事業を拡大していきたい。



木のぬくもりに満ちた浜松店は県外客も多い



キシルブランドの新たな価値づくりに挑戦し続けたいと語る 渥美慎太郎 代表取締役

取材日：令和8年2月16日



1階は学習机を始めとした児童向け家具売り場

## 日本の森林を活かすという想いを原動力に、ヒノキを使ったオーガニック家具の企画・製造・販売というビジネスモデルを一から創出。



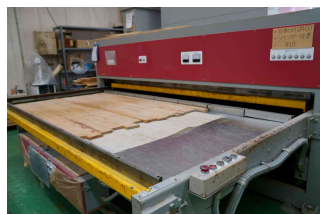
改装し売り場面積を3倍に広げたキシル浜松店

### どんな事業をされていますか？

創業は2002年。IT系のコンサルティング会社に勤めていたが、家具好きが高じて、家具の仕入れ・販売会社を設立。当時はインターネットの普及期で、今後の市場の拡大を見込み、自身で家具の販売サイトを立ち上げた。同時に家具の製造先を探そうと、各地の森林組合を訪ね、話を聞くうちに日本の森林資源が上手く活用されていない現状を知った。その課題解決が新たなビジネスチャンスに繋がると思い、国産材を使った家具づくりをやるうと決心した。当初は、木材の仕入れについて森林組合と話をしても、取扱量が少ないため、ビジネス相手として見てもらえなかったが、年間300㎡を販売目標に設定し、売れる家具づくりに注力した結果、年間500㎡を売る規模にまで成長し、地元の木材も円滑に調達することができるようになった。2014年に家具製造工場を開設し、翌年には、閉鎖直前の製材工場を引き継いで、自社で製材を手がけ、家具に適した木材の調達ができるようになった。店舗も2005年にオープンした浜松店に続き、東京の吉祥寺や横浜みなとみらいにも出店。現在の売上はネット6割、店舗4割で、特にネット販売により、全国の顧客をカバーできている。



本社の1階にある南工場(家具工場)



板材を貼り合わせる高周波接合機



自社開発したFSC認証の構造用パネル

浜松木材商同業協同組合

株式会社 キシル

代表取締役 渥美慎太郎

静岡県浜松市中央区寺脇町716-1

TEL. 053-545-6300 FAX. 053-545-6398

Mail : [info@xyl.jp](mailto:info@xyl.jp)

会社設立：2002年11月

事業内容：家具・建材の企画製造販売

従業員数：40名（パート含む）

年間売上高：5億円（2024年度）

許認可等：FSC®/COC認証、CW法登録木材関連事業者

URL : <https://www.xyl.jp/>

発行：静岡県木材協同組合連合会